

平成29年度

小樽の研究活動

研修部長 小樽市立手宮中央小学校
校長 大坂 充

1. はじめに

小樽市小学校長会は、市内21校の校長をもって構成されている。本会の研究活動は、これまで、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成、学校の自主性・自立性の確立、教職員の意識改革等の課題を解決し、本市の小学校教育の改善・充実をめざし、校長会としての一体感を大切にしながら、組織的な実践を積み上げてきた。



また、本市においては、小樽市教育委員会のリーダーシップの下、市民の信頼に応える学校づくりを目指し、小樽市学校教育推進計画「23の指針」を示している。各校においては、市民の負託と家庭や地域の期待に応える小学校教育を推進するため、「指針」に基づく学校経営の充実に向けた改善に取り組んでいる。

今年度は、第60回北海道小学校長会教育研究宗谷・稚内大会、さらに次年度の第70回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会を見据えて新たな研究課題を設定し、本市はもとより北海道教育のますますの発展・充実に資するべく研究・研修活動に取り組んでいる。

2. 研究計画

(1) 研究課題

「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
～心豊かに学び ふるさとに夢と誇りをもち たくましく生きる子どもの育成～

(2) 研究組織

組織部、研修部、調査広報部、厚生部の4つの専門部が活動を推進している。

3. 研究活動（各専門部の活動）

(1) 組織部

法令に基づき、愛情と信頼を基盤とした学校経営の確立を目指して、今日的な課題を踏まえ、校長としての職務の遂行や指導性を一層発揮し、関係法令の研究と調査活動を進め、本市小学校の学校経営の充実を図る。

- ・ 小樽地区教育経営研究会の開催、ブロック別管理職研修会の実施
- ・ 「校長必携」（法令・法規集）にかかわる関連事項のデータベース化
- ・ 学校管理規則や北海道立学校職員服務規程（関係様式）をデータベースのファイル管理 など

(2) 調査広報部

児童が安心して日常生活を送ることができる安全な環境をつくるため、中学校や高校及び関係機関との連携を密にし、児童の健全育成並びに教育環境の充実に向けた活動を推進する。

- ・ 小樽市小学校生活指導委員会に関する業務
- ・ 小樽市学校生活指導連絡協議会に関する業務
- ・ 小樽市PTA連合会、北海道PTA連合会の事業に関する業務
- ・ 通学路除排雪に関する資料作成、要望に関する業務
- ・ 資料や情報提供に関する業務 など

(3) 厚生部

学校給食関係諸機関との連携調整の窓口となるとともに、学校保健関係諸機関との連携に努め、学校保健の向上に寄与する。また、校長会の福利厚生と親睦に関する業務を推進する。

- ・ 小樽市学校給食運営協議会
- ・ 小樽市学校給食共同調理場運営委員会
- ・ 小樽市学校給食衛生委員会
- ・ 小樽市学校保健会
- ・ 小樽市定期健康診断会議
- ・ 小樽市教職員体育大会推進委員会
- ・ メンタルヘルスセミナー事業推進会議 など

(4) 研修部

全連小・道小の研究課題との関連において、研究テーマを設定し、本市の実態と学校教育上の課題を踏まえ、校長の果たすべき役割と校長としてのリーダーシップの発揮は、どうあるべきかについて、研究を進める。

<研究テーマ>

「自然環境を大切に作る心と実践力を育てる環境教育の推進における校長の役割と指導性」

<研究課題>

- ◇ 学校の教育活動全体を通して取り組む環境教育の推進
- ◇ 自然環境を大切に作る心と実践的な態度を育む環境教育の推進

<研究計画>

- 1年次 全市アンケートによる実態把握、研修会の実施、実践交流 (本年度)
- 2年次 実態を踏まえた実践・改善・充実
- 3年次 まとめ、発展

4. まとめ

本年度は、第60回北海道小学校長会教育研究宗谷・稚内大会において、全連小・道小の研究主題と関連した「自立と共生」に関する研究についての研究成果を全道に発信できたことを成果としてあげたい。

その他、本会では、中学校長会と連携し、「学校の組織運営の整備」と「人材育成」を共通目標として設定し、目標達成に向けた取組を進めることができた。

今後とも、本市の学校教育に関わる課題に正対し、解決に向けて、学校改善に資する研究活動を推進していきたい。